

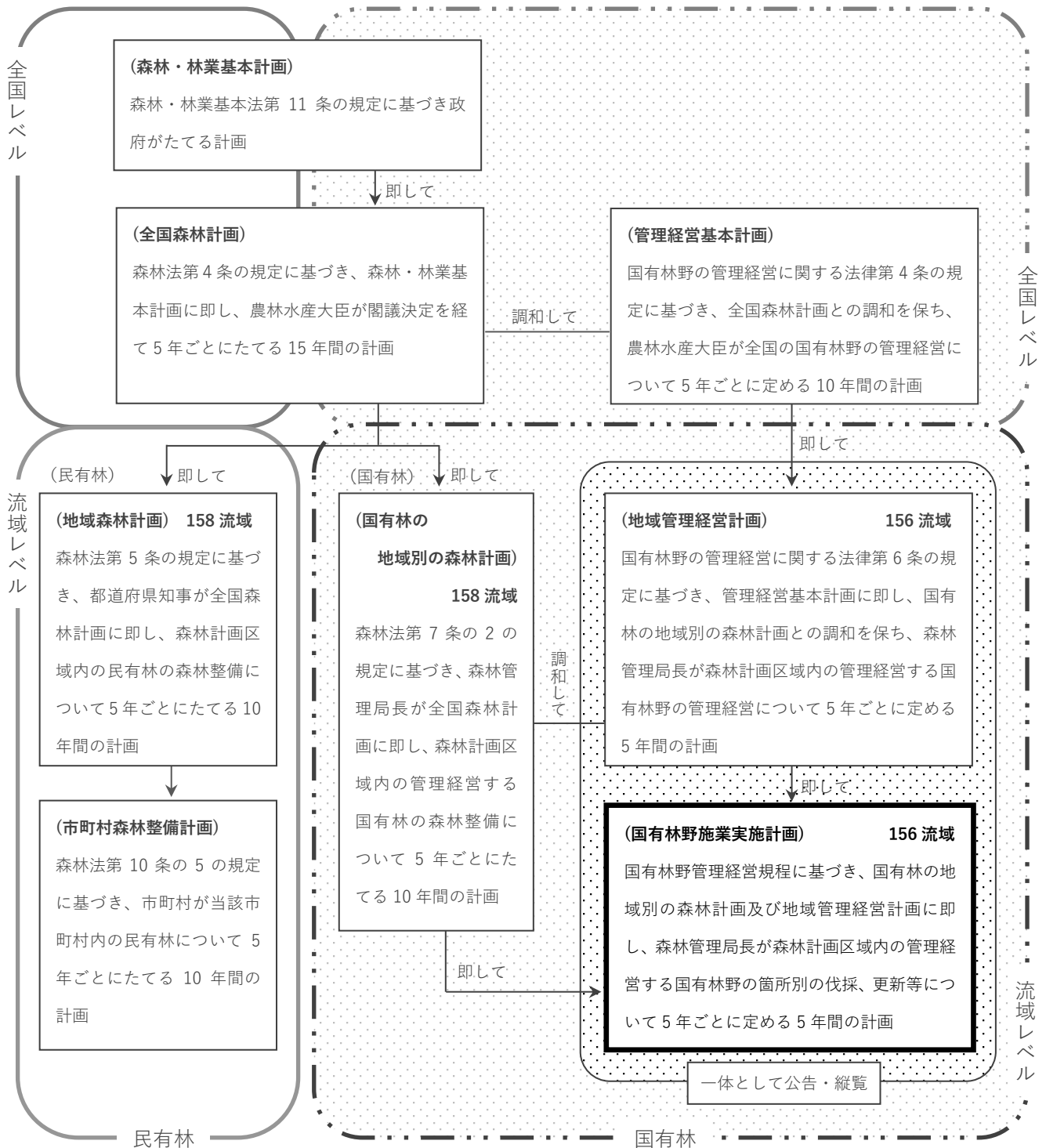
第六次国有林野施業実施計画書
(千曲川上流森林計画区)

計画期間 自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 11 年 3 月 31 日

林野庁中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとに定める5年間の計画である。

本計画の計画期間は令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間である。



目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 ^{かん} タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積	6
4	林道の整備に関する事項	7
5	治山に関する事項	8
6	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
(1)	保護林の名称及び区域	9
(2)	緑の回廊の名称及び区域	12
7	樹木採取区の名称、所在地及び面積	12
8	レクリエーションの森の名称及び区域	13
9	国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項	
(1)	森林共同施業団地の名称及び区域	21
(2)	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	21
10	その他必要な事項	
(1)	施業指標林、試験地等	22
(2)	フィールドの提供	25

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量
並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha、年)

施業群		面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
施業群	小面積分散伐区	7,003.56	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	スギ 60 ヒノキ 75 カラマツ 60 アカマツ 75
	長伐期	2,085.42	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	スギ 120 ヒノキ 150 カラマツ 100
	人工林複層伐 (植栽型)	938.53	単一小班の人工林において、帯状、群状又は単木で伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成(階層構造)する森林。	(常時複層) スギ 120[60] 85[60] ヒノキ 150[75] 100[75] カラマツ 100[60] 85[60] (一時単層) スギ 80[60] ヒノキ 95[75] カラマツ 80[60]

(単位：ha、年)

施 業 群		面 積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
施 業 群	人工林面的複層伐 (植栽型)	5,895.31	複数の小班からなる一団のまとまりの人工林において、帯状又は群状で伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林。	スギ 120[60] 85[60] ヒノキ 150[75] 100[75] カラマツ 100[60] 85[60]
	天然林複層伐 (天然更新型)	703.46	天然林において、複層伐（天然更新型）により部分的に伐採し、天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	針葉樹 200 広葉樹 180
	人工林択伐	2,563.90	人工林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	針葉樹 95(35)
	天然林択伐	3,388.68	天然林において、択伐により部分的に伐採し、天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	針葉樹 200(35) 広葉樹 180(25)
	その他	168.85	遺伝子保存林、検定林、施業指標林、試験地、精英樹保護林、展示林等の森林。	
施業群設定外		26.63		
合 計		22,774.34		

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 () は回帰年、[]は複層林の初回伐採の時期の目安である。

3 人工林複層伐（植栽型）、人工林面的複層伐（植栽型）の伐期齢の二段書きは、後伐の伐期齢を二通り設けたもの。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積 (単位：ha)

施業群分類	上限伐採面積	備 考
通常伐期施業	466.90	小面積分散伐区
長伐期施業	104.27	長伐期
複層林施業	759.32	人工林複層伐（植栽型）、人工林面的複層伐（植栽型）
天然林・その他施業	867.96	天然林複層伐（天然更新型）、人工林択伐、天然林択伐

(注) 1 上限伐採面積は、計画期間（5年）分の主伐面積である。

2 契約に基づいて主伐を実施する分収林については、上限伐採面積に含まない。

(4) 伐採総量

(単位: m³、ha)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
山 地 災 害 防 止 タ イ プ	(1.73) 645	(294.13) 27,133	(295.86) 27,778				
土砂流出崩壊防備	(1.73) 645	(294.13) 27,133	(295.86) 27,778				
気象害防備							
自 然 維 持 タ イ プ							
森 林 空 間 利 用 タ イ プ	(46.09) 2,959	(478.80) 40,635	(524.89) 43,594				
快 適 環 境 形 成 タ イ プ							
水 源 涵 養 タ イ プ	(1,664.50) 408,555	(2,306.69) 199,688	(3,971.19) 608,243				
小面積分散伐区	(862.13) 220,414	(257.66) 17,964	(1,119.79) 238,378				
長伐期	(5.56) 1,388	(412.11) 35,973	(417.67) 37,361				
人工林複層伐 (植栽型)	(60.36) 17,752	(154.86) 11,788	(215.22) 29,540				
人工林面的複層伐 (植栽型)	(692.64) 166,014	(1,200.83) 100,204	(1,893.47) 266,218				
人工林択伐	(43.56) 2,924	(253.49) 31,542	(297.05) 34,466				
その他	(0.25) 63	(27.74) 2,217	(27.99) 2,280				
合 計	(1,712.32) 412,159	(3,079.62) 267,456	(4,791.94) 679,615	40,385	720,000		720,000
年 平 均	(342.46) 82,432	(615.92) 53,491	(958.39) 135,923	8,077	144,000		144,000

(注) () 書きは、伐採面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市 町 村 名	林 地		
	主 伐	間 伐	計
上 田 市	91,662	45,260	136,922
小 諸 市	6,632	91	6,723
佐 久 市	100,157	26,195	126,352
東 御 市	11,082	4,688	15,770
小 海 町	2,163	4,186	6,349
川 上 村		1,190	1,190
南 牧 村	8,793	6,869	15,662
南 相 木 村		48,143	48,143
北 相 木 村	10,959	239	11,198
佐 久 穂 町	28,646	20,648	49,294
軽 井 沢 町	32,625	45,251	77,876
立 科 町			
御 代 田 町	49,418	20,961	70,379
青 木 村	1,421	1,720	3,141
長 和 町	68,601	42,015	110,616

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位: ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 ^{かん} タイプ	合 計
人 工 造 林	単層林造成					795.19	795.19
	複層林造成	1.03		0.49		476.44	477.96
	計	1.03		0.49		1,271.63	1,273.15
天 然 更 新	天然下種第1類					4.92	4.92
	天然下種第2類						
	ぼう芽						
	計					4.92	4.92
合 計		1.03		0.49		1,276.55	1,278.07

(6) 保育総量

(単位: ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 ^{かん} タイプ	合 計
保 育	下刈	38.05		2.28		943.71	984.04
	つる切						
	除伐	18.64		94.72		121.04	234.40
	計	56.69		97.00		1,064.75	1,218.44

3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

(単位:ha)

所在地(林小班)	面積
4め・み、5ろ・う・お、6に・わ、9る、13ろ・る・た・つ、14の、16と〜り、17い・は、24れ・つ・む・の・お・ま・ふ・て 〜さ、25り、26い〜は・ほ・り・る、28わ・く・け〜こ、30ろ・は・ほ、31い・ほ・と・ぬ・た・そ・つ・な・む・く・や・ふ 3・こ・て、32に・る、33い・れ・ね・く、37わ、39ろ・れ、42ろ・に、65い〜と・る・れ、69い、70い・へ、72へ、 75ぬ、76わ、89り〜る、94ろ、95い・ろ・へ・ち・り、96そ、97い・は〜ほ・ち・り、98ろ〜ち・わ・よ・れ・そ・つ な、99ろ〜へ・り・ぬ、100は・ほ・と・る・よ、101い〜に、102い・ろ・に〜と・り〜わ、103い・は・へ・と・り〜る、 104い〜ほ・り〜わ、105い・ろ・に〜ぬ・か・た〜な、106ろ・に・と〜る・か〜ね、む・お〜ま、107い〜へ・り・ぬ・ た、108い・ろ・ほ・と〜り・る・わ・た〜そ、109い・ろ・に・ほ・と〜り・わ・れ・ね、110い〜わ・そ・つ、111い〜 と・わ〜た、112い・ろ・へ・と・よ〜れ・ね・ら〜う、113い〜は・へ〜ち・わ・よ〜つ・な、114い〜ろ3・に・ほ・と〜 る3、115は〜へ、1005ろ・は・と・わ・れ・つ、1006い・は・に・か・よ、1007よ・れ・さ、1009ほ・ち・る、1010ろ・ は、1014い、1015と・よ・れ・そ、1016こ、1019い・ろ1・ろ3・は・よ・た、1022わ、1023は・へ・か、1024い〜は・ る〜か・そ・ら、1025い、1026い・は・ほ・へ・り・よ・た・お、1027ろ・へ・と・る・わ、1028い、1029い・ろ・ほ〜ち・ か・ふ・こ、1041ろ・ほ・と・り、1052ろ・は・ほ、1055い・た、1060ろ、1061い・う・く・ひ・ん2、1062ち・そ、1063 り・わ、1066ほ・り・る〜た、1102ろ〜に・と〜わ1・か・よ、1103い〜へ・ち〜ぬ、1104は〜ほ、1105ろ〜に、 1106は・ほ、1107り、1108ろ・と・ち、1109い・ろ・に〜へ・わ・よ・そ〜ね・ら〜う・く・て、1110い・ろ・と・ぬ、 1111い・ろ・へ〜ち、1112ろ・と、1113い〜は・へ〜ち、1114い〜は・ほ・ぬ〜た、1115ち・の、1116に13・に15・ に20・ほ10・そ8、1117い26・い28・い29・い32・い34・い37・い39・い41・い44、1120ほ・わ・か、1122ほ51・へ45・ た、1123そ、1124ろ・ほ・る・れ・つ・む・の・お、1125ろ・り〜る・た、1126と・り・る・ら・む・の〜く、ま・け・き〜 み・ひ・も・す・ん7、1127ろ・ち、1128に・ち・り・れ・ね・の・ま、1129ろ・に・る、1130い・は・ほ〜と・よ、1131い 〜に、1132-1り・ぬ、1132-2い・ろ、1133-1ろ・は・と〜り・よ・た・そ、1133-2は・ほ・ち〜る・よ・う・く、1134 は・に・り・る・わ・よ・た・そ〜ね・む・の、1135ろ、1137ほ・へ・そ〜ね・や〜け・こ、1138ろ・は・へ・ち・た・つ・や 〜ふ・え、1139ろ・ち〜ぬ、つ・ね、1140わ、1141い・は、1143ろ・へ・ち・り・よ、1144る〜か、1145ね、1146 ろ・へ・と・た・れ・ら・う・ま・さ、1147ろ・ほ・る・く・て、1164い・ろ・つ・ね、1165た、1166に・り・ぬ・れ・そ、 1169ち、1170ろ・よ、1179い〜は・た・く・や・ふ〜え、1180い・に・へ〜ち・る・か・よ・れ・そ・け・て・あ、1183 か、1187い〜に・へ・と・り・る・れ・そ・え〜さ・ん18〜ん20、1189こ、2003は・へ・と、2005ろ・は・ち〜か・れ・ そ・ね・な、2006い・は・に・へ〜ち・ぬ・わ、2007い・は・へ・り・ぬ・た〜そ、2008は・へ〜り・る・ね・ら、2009ろ〜 ほ・と・ち、2010へ、2011い、2014い、2015ろ〜に・へ〜た、2016い〜は・ほ・へ・よ・た・つ・ら・む、2017い〜 る・か、2018い〜ほ、2019ろ・は・ほ・と〜ぬ・か〜そ、2020い〜は・か・な、2021い〜そ、2022い〜に・へ・と・り 〜わ、2023に・ほ・か、2024い・は〜へ・ち・る、2025い1・い2・に〜そ、2026い〜へ、2027い〜そ、2028い〜は・ へ・と・れ、2029い・ろ・へ〜り、2030ほ〜ち・ぬ〜わ・よ・た・そ・な、2032い・ほ・り・る・か・れ・つ・ら、2036は〜 へ・ち〜る・か〜た、2038は〜ぬ、2039い・は・ほ〜と・り・る・か・れ・つ、2040い・へ・と、2041い・に〜と、2043 は、2044い〜に・と〜り・そ〜な、2045い・は・ち・る〜た・そ・つ・な・う・お・や・ま、2046ろ〜る、2047い〜へ・ち 〜る、2048ろ・に・ほ・り、2049い〜ほ・と〜り・か・よ、2050い〜ち・ぬ〜れ・つ・ね、2056い〜は・ほ・と・り・る・ た〜そ・ね・ら・む、2057に〜へ・ち・り、2058は〜ほ、2059い・は・に・へ・ち・か・よ・く〜ま、2060ろ・は・る、 2061へ・と、2063は・ほ・へ・ぬ・る、2066ろ・へ・と・り・る・か・よ、2067い〜は・へ〜り、2068は・へ、2069ほ1・ ほ2、2073い〜そ、2074に・へ、2076は・に・へ・と、2077ほ・た・そ〜む、2078い・へ〜り・た、2088ほ、2097と・ よ・た・つ・ね、2098い・は・ほ〜り・る〜く、2099い・は・ほ・へ・ち〜る、2100に・ほ、2103は・ほ・へ・ち・わ、 2104ろ〜に・へ・ぬ〜わ、2105ろ・ほ・へ・ち〜れ、2108い・ろ、2109ろ・は・と〜り・わ、2110に・む、2111ろ、 2112い・は・ほ・へ・り・ぬ、2113い・ろ・ほ、2114い・と・る、2115い・は・ほ・と・り・わ・か、2116い・は〜ほ・り・ ぬ・か・た・つ、2117ろ・に、2118に〜へ、2119い・り・ぬ、2120い・に5・り4・ぬ1・か2・た・そ、2121は〜へ、2122 い・ろ・ほ・へ・ち・り、2123い・ろ・に・り〜た・そ・ね・な、2124い・は・ほ・ち、2125い・ろ10〜ろ12・へ、2127は・ と・ち・ぬ・れ〜のく〜け、2128は・る・わ・よ、2130ろ・た、2131い・ろ・に・ほ・と・ち・ぬ〜う、2132は・と、 2133い・ろ・に、2134ろ・は・へ・と・ぬ・る・た、2135は・に・と、2136は〜へ・ち・り・る・か・そ・ね、2137は・に・ へ・と・り、2138ち・よ、2139い・ね、2140い、2144は・に、2145い・は〜へ、2146ろ・ほ1〜ほ4・り・ぬ・か・よ・れ 〜お、2147い〜に・ち・ぬ・る、2149ろ・へ・と・り・わ〜よ、2150ろ・そ・つ、2152は・ほ・り・ぬ、2153ろ・に・へ、 2154い・る・わ、2155い・に・ほ・ぬ・わ・か・た・れ、2156ろ・に〜よ、2160に・り・ぬ・か・よ・れ〜ね	7,403

(注) 林地以外の土地の面積は含まない。

4 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路線名	林班・箇所	延長	備考
基幹	改良	白岩三川(白岩)	30ほか 1箇所	20	
		白岩三川(上栗生)	36ほか 2箇所	100	
		南八ヶ岳(白駒)	83 1箇所	20	
		長倉山	2131ほか 1箇所	30	
		浅間	1005 1箇所	80	
		菅の沢併用	1045ほか 1箇所	20	
		大門西	1115 2箇所	400	
		大門東	1113ほか 3箇所	150	
		計	12箇所	820	
その他	開設	内山	4~5 1箇所	490	
		大門本沢	1110~1112 1箇所	2,000	
		三ノ又沢	1133-2 1箇所	400	
		和田深沢	1143ほか 1箇所	920	
		峰山	1057ほか 1箇所	2,610	
		峰山支線	1055ほか 1箇所	3,000	
		鳴尾	1060 1箇所	1,450	
		保福寺峠	1180~1181 1箇所	3,600	
		計	8箇所	14,470	
	改良	さむい沢	42ほか 2箇所	100	
		雪入	95ほか 1箇所	1,000	
		一の沢	1061 2箇所	200	
		石堂	1070 1箇所	30	
		鳴尾併用	1060 1箇所	30	
		大門窪城	1103 1箇所	30	
		三ノ又沢	1133-2ほか 1箇所	50	
		松沢第二支線	1125ほか 1箇所	50	
		室賀	1187ほか 1箇所	20	
		半過併用	1188 2箇所	30	
		飯縄支線	1185 1箇所	30	
大平	2141ほか 3箇所	30			
下平尾併用	2145ほか 1箇所	60			
下平尾	2146ほか 1箇所	60			
寄石山	2155 1箇所	10			
三沢支線(1号)	112 4箇所	200			
計	24箇所	1,930			
合計	開設		8箇所	14,470	
	改良		36箇所	2,750	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 治山に関する事項

(単位:保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計画量
角間川、和熊川、石堂、洗馬、半田入、男女倉、東餅屋、 扉、武石川、内村川、精進場川、濁川、大平、香坂川、高峰 山、舟ヶ沢（小諸市）、舟ヶ沢（御代田町）、深沢川、榊 山、雨川、板橋川、牛首川、大月川、東毛木場、東股沢、金 峰山、小川	保全施設	溪 間 工	27
和熊川、石堂、男女倉、東餅屋、武石川、内村川、湯川上 流、精進場川、大平、香坂川、舟ヶ沢、深沢川、大月川、東 股沢、金峰山、小川	保全施設	山 腹 工	16
	保全施設	そ の 他	
千曲川上流森林計画区管内の保安林区域内	保 安 林 の 整 備	保 安 林 改 良	420.41
合 計	保全施設	溪 間 工	27
		山 腹 工	16
		そ の 他	
	保 安 林 の 整 備	保 安 林 改 良	420.41

(注) 1 位置は、単位流域を表す。

2 保全施設の計画量（箇所）は、単位流域の数を表す。

3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

(単位：ha)

区 分	名 称	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
生物群集 保護林	金峰山	433.38	50ほ 53る・わ・そ 54ほ・へ・わ・ハ 56ろ・に・ほ・イ 58へ・る・わ・イ～ニ	金峰山、朝日岳、国師岳等 が連なる尾根筋の北斜面に、 ハイマツ、シャクナゲ、ツガ ザクラ、コケモモ、トウヤク リンドウ、ガンコウラン等か ら構成される高山植物群落、 その下部にカラマツ、オオシ ラビソ、シラビソ、コメツガ 等の亜高山性針葉樹を主体と する植物群落があり、これら の生物群集を有する森林の保 護・管理を図る。	
	浅間山	保存地区 1,919.79	2053い 2054い 2055ほ～ち・イ 2064い 2090イ・ロ 2091い・イ・ロ 2166い・イ・ロ 2167い・は・イ～ハ 2168イ 2169イ・ロ	天明3年(1783年)の浅間 山噴火により火山噴出物が堆 積し、約50年を経過した頃か ら侵入したと推測されるカラ マツ、アカマツ、ウラジロモ ミ、ダケカンバ等と、林内に 自生するレンゲツツジ、スズ ラン、ヤナギラン等の高山植 物群落があり、これらの生物 群集を有する森林の保護・管 理を図る。	
		保全利用地区 97.38	2081に 2082は		
	美ヶ原	1,074.62	1141ぬ・ら・ニ 1142は・ぬ 1147う 1148ろ・に・と・ニ 1149い～は・ち～ぬ・ リ 1157い～へ・ハ・ホ 1158ろ 1159い・は 1160に・り・ぬ・ハ	美ヶ原高原の北端部から東 南端に位置する。 コメツガ、トウヒ、シラビ ソ、ウラジロモミ、ミズナ ラ、カエデ等から構成される 亜高山帯の針広混交林を主体 としており、これらの生物群 集を有する森林の保護・管理 を図る。	
	八ヶ岳 千曲川上流：221.26 伊那谷：294.68 計：515.94	221.26	71ハ～ホ 72ハ 73イ 75イ・ロ	ヤツガタケキンポウゲ、ヤ ツタカネアザミ等の高山植物 群落を保護・管理をする。	
計	4箇所	3,746.43			

(単位：ha)

区 分	名 称	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
希 少 個 体 群 保 護 林	海尻ミズナラ等 遺伝資源	9.49	76ろ	<p>湯川に面する北向き斜面にあり、東西に長い形状をしている。斜面上部は高い岸壁が連続している。</p> <p>ミズナラ、シオジ、サワグルミ等が群生する天然林であるため、これらのミズナラ等の個体群の保護・管理を図る。</p>	
	兜岩	36.57	6れ	<p>兜岩山は、アスピーデ型火山が長い間の侵食によってできたもので、クリ、ミズナラ等から構成される林齢約100年の広葉樹林となっており、それらの天然林から兜岩(1,369m)の岩峰が突出している。周囲にはアカヤシオ群落があるため、この個体群の保護・管理を図る。</p>	
	赤谷コナラ等 遺伝資源	13.04	15い	<p>一帯には堆積岩(泥岩)の岩礫や巨岩の多い平衡斜面が多く見られる。</p> <p>コナラ、ケヤキ、クリ等が群生する天然林であるため、それらの個体群の保護・管理を図る。</p>	
	浅間山カラマツ	1.49	2036れ	<p>浅間山(2,568m)の南麓に位置する緩やかな平衡斜面である。</p> <p>嘉永3年(1850年)植栽と伝えられる我が国最古のカラマツ人工林で学術的に貴重であるため、この個体群の保護・管理を図る。</p>	

(単位：ha)

区 分	名 称	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
希少個体群 保 護 林	浅間山 霧上の松	8.57	2030は・つ 2032ろ・は	浅間山 (2,568m) の南麓に位置する南西向きの緩斜面である。天明3年 (1783年) の浅間山噴火以降に成立したアカマツを主体とし、広葉樹の混交する林齢約140年から180年の天然林である。 浅間山のふもとにある「霧上の松」として知られた形質・成長ともに優良なアカマツ天然林の個体群の保護・管理を図る。	
	大門山	94.49	1121わ・ヌ 1122か・よ・ホ・へ・ チ・ヌ	クリ、カンバ類、ミズナラ等を主体とする広葉樹林及びカラマツ人工林となっている。 国内希少野生動植物種に指定されているイヌワシの生息が確認されていることから、その生息に必要な森林の保護・管理を図る。	
	白駒コメツガ	183.34	84と・か・れ	八ヶ岳連峰中山の北東側山腹で白駒の池の南側に位置している。 八ヶ岳地域において最も林齢の高い林分で、コメツガを主体とし、シラビソ、オオシラビソ等が混交している。墨石地帯に成林し、下層に蘚苔類が発達しているなど、コメツガ林特有の形態を呈しており、学術的に重要であるため、コメツガの個体群の保護・管理を図る。	
計	7 箇所	346.99			
合 計	11 箇所	4,093.42			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

(単位：km、ha)

名 称	延長	面積	位置 (林小班)	特 徴 等	備 考
緑の回廊 八ヶ岳	21	2,155.83	69ほ 71は・ほ・イ・ロ 72は・に・と・ち・イ・ロ 73た・う 75と・ち 77は・に 78ほ～と・イ 80は～ほ・イ・ロ 82は～と・ロ～へ 83つ・な・く 84へ・ち・り 85ろ・へ～り・わ～よ・ハ 86い～わ 91と・ち・イ 92に・へ～ち・イ・ニ 93ほ・へ・り・ぬ 117へ・と 2164と・ち・イ・ロ 2165ろ・イ・ロ	緑の回廊設定区域は、千曲川上流森林計画区の蓼科山から伊那谷森林計画区の八ヶ岳連峰編笠山までの稜線を結ぶ区域で、八ヶ岳綺枯山希少個体群保護林、白駒コメツガ希少個体群保護林、八ヶ岳生物群集保護林、西岳・フウキ沢ヤツガタクトウヒ希少個体群保護林の各保護林を連結し、野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促す等森林生態系の保護・保全を図ることを目的とする。 林況は亜高山帯のシラベ・コメツガ等の針葉樹天然林と高山帯で構成されている。 施業については「緑の回廊八ヶ岳設定方針」による。	
					<p style="text-align: center;"> 千曲川上流：2,155.83 伊 那 谷：3,679.53 計 ：5,835.36 </p>
計	1箇所	2,155.83			

7 樹木採取区の名称、所在地及び面積

(単位：ha)

名 称	所在地 (林小班)	面 積	備 考
中部1東信・真田樹木採取区	1045ろ・へ・と・ち・り 1046い・た・な 1049い・へ 1050り 1051は 1052よ・そ・つ・ら 1060い 1061る・わ 1063よ	273.90	詳細については、令和3年9月10日付、樹木採取区の指定の公示のとおり https://www.rinya.maff.go.jp/chubu/policy/business/sigoto/siteinokouzi.html

8 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位:ha)

種類	名称	面積	位置(林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養林	湯の丸・高峰 〔自然観察教育〕	1,374.78	内訳は以下〔ゾーン区分〕のとおり	なだらかな景観をなす湯の丸から高峰にかけての山岳と高原台地を有する地域である。亜高山性のコマツガ・シラベ・ダケカンバ等の天然林とカラマツ壮齢人工林等の森林と池ノ平等の高層湿原等で構成され、自然教育、探勝の場として、またスキー場等の野外スポーツの場として四季を通して利用されている。				
		120.54	1012と1～と8		育成 複層林	・園地 (東御市) (民間)		
			1004い～に・へ～り 1012や 1004口～ホ 1012タ		天然 生林			
	〔野外スポーツ〕	209.07	1012ち・わ・れ・ね・ な・お・こ・ め～し 1013ほ～る・の		育成 複層林	・野営場 (国) (東御市) (民間) ・スキー場 (民間) ・旅館・売店 (民間) ・森林の学校 (東御市) (民間)		
			1012そ・ら～の・ ゆ・ひ		天然 生林			
			1012口～ヨ・ レ～ナ・ム～ヤ 1013ハ～ホ・ ト～カ・レ		林地 以外			
	〔風景〕	1,045.17	1001い～り 1002り・ぬ・か～そ 1012り・ぬ・く 1013は・に 1014わ 1016る・ね 1017に 1018に 1020は 1021に 1032ほ 1034ろ・は 1035と・り・ぬ 2008ほ 2011に 2012い・ろ・に 2013い～は		育成 複層林	・園地 (小諸市) ・宿泊施設 (民間)		
			1004ほ 1012る・か～た・ふ 1028り 1032に・へ 1033ろ 1034い・に 1035る 2001に 2012は		天然 生林			

(単位：ha)

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 方 法	既 存 施 設 の 概 要	施 設 整 備	備 考
自 然 休 養 林	湯の丸・高峰 〔風景〕のつづき		1001イ～ハ 1002イ 1004イ 1012イ 1013イ・ロ 1014イ 1016イ 1017イ 1020イ 1021イ 1025イ 1026イ 1032イ 1033イ 1034イ 1035イ 2001イ 2012イ～ニ 2013イ		林地 以外			
	北八ヶ岳 〔風景〕	891.35	内訳は以下〔ゾーン区分〕のとおり	当地域は東信・南信森林管理署にまたがり北八ヶ岳の景勝地を占める森林である。垂高山性のシラベ・コメツガに囲まれた神秘的な白駒の池・双子池等の湖沼と山岳が一体となり、自然資源が豊富であり、自然探勝的な利用や野外スポーツの場として四季を通して利用されている。				
		681.35	85い・ろ・に・へ・と・り・よ・れ 86い・る・わ 94へ・と 116ち・ぬ・そ・つ 117は・り		育成 複層林	・歩道 (佐久穂町) ・スキー場 (佐久市) (佐久穂町)		
			85ほ・ち・た 86ろ・に・へ～ち・ぬ 91と・ち 92へ・ち 93と 94ち 117に・ほ		天然 生林			
			85イ～ハ 91イ 92イ・ニ 116ロ・ニ 117ロ・ハ・ホ		林地 以外			

(単位：ha)

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自然 休 養 林	〔風致探勝〕	210.00	85ぬ・る・か 92と、93ほ		育成 複層林	・歩道 (佐久穂町) ・野営場 (佐久穂町) (民間) ・山小屋 (民間)		
			85は・わ 86は・ほ・り 92に、93へ・り・ぬ 117へ・と		天然 生林			
			86イ～へ 92口・ホ		林地 以外			
計	2箇所	2,266.13						
自然観察 教 育 林	追分	235.86	2068い・と・ち 2069い～ち 2070い～り 2071い～と・か・ れ・そ・ね・な 2072い～む	雄大な浅間山を背景にしたアカマツを主とする森林で、周辺の民有地には林間学校施設や別荘等が多く、自然とのふれあい、体験林業等、自然観察教育の場として利用されている地域である。	育成 複層林	・森林の学校 スポーツ施設他 (東京都練馬区)		
			2071ち～わ・よ・ た・つ		天然 生林			
			2070イ・口 2072イ～り		林地 以外			
	軽井沢	101.84	2101い～り・わ～れ 2102林班 2101ぬ・る 2101イ～ハ	カラマツ人工林にクリ・ミズナラ・ハルニレ等の広葉樹が混交した林相で、国設軽井沢野鳥の森にも指定されている区域である。 カラ類を始め多数の野鳥が生息・飛来し、林内には野鳥観察小屋等が設置され野鳥等の観察を通して自然教育の森として適している。	育成 複層林	・歩道 (環境省) ・園地 (環境省) ・野鳥観察 小屋 植物園 (環境省)		
					天然 生林			
					林地 以外			
	小瀬・ 竜返し滝	71.87	2109へ 2126ほ・ち・わ・れ・ そ・な・ら 2129る・た～そ 2130れ・む、2138れ 2107へ、2109い 2130ち・そ、2138り 2119ハ1～ハ4 2126イ・ハ・ニ・リ 2129イ～ニ・ へ～チ・ル～カ	アカマツ・カラマツの人工林と湯川沿いのハルニレ等の広葉樹及びアカマツ天然林が混成し、竜返し滝等の近隣の優れた自然景観と相まって自然学習及び探勝の場として適している。	育成 複層林	・園地 (軽井沢町) (民間) ・歩道 (長野県) (軽井沢町) ・休憩施設 (軽井沢町) ・野営場 (民間)		
					天然 生林			
					林地 以外			
計	3箇所	409.57						

(単位：ha)

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 方法	既 存 施 設 の 概 要	施 設 整 備	備 考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	菅平	265.45	1046む 1050わ・よ～れ 1051る、1052お 1071い～と・ か～な・む・う 1073は～そ 1074い～に・へ・と・ り～る・た～そ・ な・ら・う・の	昭和35年に開設した 国設スキー場で、菅平 高原の一角を占め、カ ラマツ人工林の中に初 心者から上級者まで楽 しめるコース設定がさ れ、近隣のスキー場と 一体的に利用されてい る。	育成 複層林	・スキー場 (上田市 (民間)) ・運動場 (菅平高原 観光協会)		
			1050る・か 1071ら 1074ち・む		天然 生林			
			1071イ～ニ 1073口～チ 1074イ～ハ		林地 以外			
	大門・鷹山	341.86	1116い～は・ち・ぬ ～れ・つ～く・こ・ て・あ・め・ひ～せ 1118い～な 1119は～れ 1116や～ふ・え 1119に 1116ハ～ホ・チ・ リ・ル～タ 1118イ～ニ 1119ハ・ニ	昭和56年から昭和60 年に開設されたスキー 場で民有地の姫木平保 健休養地や北白樺高原 ふれあいの郷等ととも に近隣の各スキー場と 一体的に利用されて る。	育成 複層林	・スキー場 (長和町) (民間) ・食堂 (長和町) ・休憩所 (長和町)		
			1116ハ～ホ・チ・ リ・ル～タ 1118イ～ニ 1119ハ・ニ	天然 生林	林地 以外			
計	2箇所	607.31						
風 景 林	万山望・小浅間	325.76	2083ろ・に 2086に・ほ 2087に、2088い 2089い、2090い 2092い 2087ろ 2088ろ・と 2089ろ・へ 2090ろ・は 2093ろ 2094い～は 2086イ～ニ 2087イ・口 2088イ～ホ 2089イ・口 2090ハ・ニ 2092イ 2093口 2094イ	浅間山の東側に位置 し、富士山・八ヶ岳連 峰・秩父多摩山系等を 眺望できる国道146 号線の展望地と、峰の 茶屋・国境平等の高原 地形を有し、アカマツ 及び広葉樹の天然林と カラマツ人工林が主要 道路及び利用施設の背 景林として美的景観を 有している箇所であ る。	育成 複層林	・園地 (軽井沢町) ・歩道 (軽井沢町) ・休憩施設 (軽井沢町) ・公衆トイレ (軽井沢町)		
			2086イ～ニ 2087イ・口 2088イ～ホ 2089イ・口 2090ハ・ニ 2092イ 2093口 2094イ	天然 生林	林地 以外			

(単位：ha)

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 方 法	既 存 施 設 の 概 要	施 設 整 備	備 考
風 景 林	ピーナスライン	526.36	1136ろ・に・へ・ ち～う・お・ あ～し・も～す・ ん1・ん3～ん8 1139へ・と・る・わ・ よ～そ 1140は・と・る・ た～な・う・の・ ふ～え・ゆ～し 1141ろ・へ～り・ わ～よ・れ・ね・ な・む 1142へ	三峰山周辺の尾根筋 一体の矮性化したカラ マツにコメツガ・ダケ カンバ等が生育し、多 彩な森林景観を呈して いる箇所で、ピーナス ラインをベースにした 眺望景観と相まって優 れた景観を構成してい る。	育成 複層林	・物産館 (長和町) ・休憩施設 (長和町) ・宿泊施設 (民間) ・園地敷 (長和町) ・歩道 (長野県) (長和町)		
			1136け・え・ひ・ん2 1139ほ・か 1140よ・ら・む・お・ く・き・ひ 1141る・そ・つ 1142と・る		天然 生林			
			1136イ～ホ・ト～ム 1139イ・ニ～カ 1140イ～チ 1141口・ハ・ホ～ト 1142口		林地 以外			
	大法寺	72.08	1185い～く・ や1～や3・ ま～し・ひ1・ひ2・ も・せ1・せ2・す・ ん1～ん10・ ん18～ん33 1185ん11～ん17	国宝三重塔を有する 大法寺の向背林でアカ マツを主とする天然林 は見返りの塔と呼ばれ る三重塔と調和した風 致景観を構成してい る。	育成 複層林			
	佐久高原	285.87	5そ、6へ・る 2148は 2149ぬ・る・れ～な 2150い・は～ほ・ と～か・た・ら 2151い・へ・ち～る 2154ほ 4せ・す 5ぬ・る・か・よ・ね・ な 6ち・り・か・ま 2148に・ほ 2149は～ほ 2150へ・よ 2151ろ	妙義荒船佐久高原国 定公園の中核を占め、 主峰八風山の山稜部一 体のカラマツ・アカマ ツの人工林とミズナ ラ・カンバを主とする 広葉樹林が色調の変化 に富んだ森林を構成し ている。	育成 複層林	・休憩所 (佐久市) ・野営場 (佐久市) ・駐車場 (佐久市) (民間) ・歩道 (長野県) (佐久市)		
	天然 生林							

(単位：ha)

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 方 法	既 存 施 設 の 概 要	施 設 整 備	備 考
風 景 林	佐久高原 のつづき		4ホ		林地 以外			
			5ハ・ニ 6イ～ハ 2148イ 2149イ 2150イ～ホ 2151イ～ニ					
	天狗岳	512.49	82は					
		78ほ・と 82に・へ・と 78イ～ニ 80イ 82イ～ト		天然 生林				
			林地 以外					
計	5箇所	1,722.56						
風 致 探 勝 林	北白樺	56.70	1121は～り・か・よ・ れ・そ	国道152号線通称大門 街道に接し、昭和61年 設定の北白樺高原ふれ あいの郷と周辺のカラ マツ人工林で構成さ れ、蓼科山等の眺望に 優れ自然探勝の場とし て利用されている。	育成 複層林	・ふれあいの郷 (国) (長和町)		
			1121ホ・チ・リ・ル		林地 以外			
	美ヶ原	338.27	1149ほ・へ 1162な 1147の 1148ほ・へ 1149に・と・る～か 1154た 1156ほ 1157ち 1158は・ほ 1159ろ・に～り 1141イ 1147イ 1148イ～ハ・ホ～ト 1149イ～チ・ヌ・ル 1157イ・ロ・ニ 1159イ～ネ 1160ロ・ホ・ト 1161イ・ロ 1162イ・ハ	美ヶ原高原の台地状 に設定され、宿泊施 設・広場・園地・牧場 等と相まってドライブ やハイキングに広く利 用されている。台上か らは遠くは富士山・南 北アルプス等雄大な山 岳景観が眺望される。	育成 複層林	・歩道 (長野県) (上田市) (民間) ・宿泊施設 (民間) ・植物園 (長野県)		
					天然 生林			
					林地 以外			

(単位：ha)

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 方 法	既 存 施 設 の 概 要	施 設 整 備	備 考
風 致 探 勝 林	千ヶ滝	129.82	2077と・り～わ・れ・お 2080ほ～り・よ 2084い・ぬ・か・よ 2085ろ～ぬ	軽井沢町の千ヶ滝中区から千ヶ滝に至る帯状の森林で、アカマツ・カラマツ人工林とハルニレ等の広葉樹天然林が適度に配置され高低・明暗の変化に富んだ森林と周辺民有地の各種施設及び別荘地の背景林として自然探勝等に利用されている。	育成 複層林	・歩道 (軽井沢町) ・園地 (軽井沢町)		
			2077へ 2080に・ぬ・た～そ 2083は・ほ、 2084と～り・る・わ・た 2084イ 2085イ・ロ		天然 生林			
	白糸の滝	23.64	2096る 2097い・へ・り・る・わ 2096は 2097ろ・ぬ 2096イ 2097ロ	白糸ハイランドウェイのほぼ中間に当たる名勝白糸の滝を中心とし、ミズナラ・ハルニレ等の広葉樹天然林とカラマツ人工林が高低・明暗の変化を作りだし、地下水が糸状に湧出する白糸の滝と調和し優れた風致景観を構成している。	育成 複層林	・歩道 (軽井沢町) ・園地 (軽井沢町) ・売店 (民間) ・駐車場 (民間)		
				天然 生林	林地 以外			
計	4箇所	548.43						
合計	16箇所	5,554.00						

(参考) レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法等

(単位:ha)

施業方法等	位置(林小班)	面積	施業方法等	位置(林小班)	面積	施業方法等	位置(林小班)	面積
育成 複層林	3ま・ふ・こ	1,938.44	天然生林	2ぬ・る	706.35	林地以外	4ハ・ニ・ヘ〜チ	195.74
	4ね〜む・お〜や・き・ひ・も・ん2			3う・の・け			6リ	
	5ら			4う・の・ま・け			83イ〜ハ	
	6と・よ・な			5つ・む			117ヘ	
	83い・は・に・と・ぬ・わ・れ・ら			6ろ・ぬ・た・そ・ね・ら			1006イ	
	117ぬ			7た			1011ヘ	
	1012い〜へ・つ・ま・け・え〜き			24め			1012ラ	
	1013い・ろ・わ〜う			81と			1013ヘ・ヨ・タ	
	1071ち〜わ			83ろ・ほ・ち・り・る・か			1071ホ	
	1073ろ			1074ぬ			1073イ	
	1074わ〜よ・つ			1115い・う			1114イ	
	1114ヘ〜リ			1120り			1115ハ	
	1115ろ〜と・り・な・む・く			1121た・つ			1117イ〜ホ	
	1116に・ほ・そ・さ・ゆ・み・し・ ん1〜ん4			1132-1る			1119イ・ロ	
	1117い〜そ			1133-2ま			1120ロ	
	1119い・ろ・そ			1135か			1121イ〜ニ・ヘ	
	1120い・ろ・へ・と			1136や・ふ			1130イハ	
	1121い・ろ・ぬ・る・ね			1146そ〜ね・く・ふ			1132-1イ・ロ	
	1132-1ろ・に・ヘ〜ち			1147と・ち・ね・お・ふ・あ・め・み			1132-2イ	
	1132-2ヘ〜ち			1148い・は			1133-1イ	
	1133-1わ・な			1160と			1133-2イ・ロ・ニ・ヘ・レ・ツ	
	1133-2と・た〜ら			1161ヘ・ち・り			1135イ〜ニ	
	1135は・へ・と・り・わ・よ・た			2011は			1136ヘ・ウ	
	1136い・は・ほ・と・の・く・ま・こ・ て			2075い・ろ			1146イ	
	1146い			2079ろ			1147ロ	
	1147い・は・た〜つ・な〜む・ま・け・ も〜す			2080は			1160ヘ	
	1160ほ・ち			2084そ			1161ハ	
	1162は・り・ぬ・よ・ら			2086ろは			1189イ〜ニ	
	2007ほ			2087い・り・ぬ			1195ト・ツ・ツ	
	2075は〜わ			2089は			2088ヘ	
	2079い			2093い			2089ハ	
	2081い〜は			2095に〜へ			2093イ	
	2082い・ろ			2096い・に・ほ・ぬ			2095イ	
	2083い・へ			2106は・と			2119ロ	
	2084ろ			2107に・と			2120イ〜ニ	
	2085い			2111い			2126ロ・ホ〜ト	
	2086い・ヘ〜ち			2119ろ・ち・わ			2128イ・ニ・ホ	
	2087は・ほ・ち・る〜の			2126ぬ・か・む・の			2129ホ・リ・ヌ	
	2088は・に・へ			2127ほ			2138イ・ハ	
	2089に・ほ			2128い・へ・と・り・ぬ・れ			2139イ〜ハ	
	2095い〜は			2129ろ・ぬ・か			2141イ	
	2096ろ・ヘ〜り			2130は・に・ぬ・る・か・よ・ね・な			2142イ	
	2097に・ほ・ち・そ・な〜う			2137ほ				
	2106い・に・へ・ち・ぬ			2138は				
	2107い〜は・ち			2139ぬ〜わ・そ				
	2109ほ			2140ろ・に				
	2110ろ・は・ほ・ち・る・か・た・れ・ つ・ら・う			2142る・か・た				
	2111は・ほ・ち							
	2114は・り・わ〜ね							
	2115る・た・れ							
2119は〜ほ・と・る・た〜そ								
2120ヘ〜ち・る・わ・よ・つ〜む								
2126い〜に・と・る・た・つ・ね・う・ お								
2127い・ろ・に・る・お								
2128そ								
2129い・ほ〜り・わ・よ								
2130い・ほ〜と・り・わ・つ・ら								
2138い・ろ・に・る・た								
2139ほ・ち・か・れ								
2140は・ほ・へ								
2141に								
2142ほ・ち・り・よ・れ								
2144い								

9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備
及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

該当なし

(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位:ha)

種 類	名 称	設定年	面 積	位 置 (林小班)	備 考
施 業 指 標 林	広葉樹天然林	S59年度	1.81	2141は	天然林施業体系の確立
	アカマツ・広葉樹複層林	S59年度	19.10 (5.00)	100い	天然林施業体系の確立
	亜高山針葉樹林帯漸伐	S50年度	29.67 (11.47)	71ろ・と	天然林施業体系の確立
	亜高山針葉樹林帯漸伐	S49年度	80.74 (64.39)	53よ 54に・ほ・と・る・わ	天然林施業体系の確立
試 験 地	菅平カラマツA種収穫試験	S11年度	0.88	1073ろ	(森総研) カラマツ人工林の構造と成長
	八ヶ岳天然幼齡林の保育試験	S11年度	0.44	73れ	(森総研) 亜高山林の作業法
	大曲カラマツA種収穫試験	S15年度	1.09	105に	(森総研) カラマツ人工林の構造と成長
	高峰アカマツ人工林収穫試験	S34年度	1.29	2005ぬ	(森総研) アカマツ人工林の構造と成長
	浅間カラマツ産地試験	S34年度	4.14	2018は	(森総研) 異郷土樹種の導入
	八ヶ岳帯状更新試験地	S40年度	2.37	80に 81な	(森総研) 亜高山帯の造林試験
	川上帯状更新試験地	S40年度	7.47	52ち	(森総研) 亜高山帯の造林試験
	カラマツ間伐試験地	S43年度	1.10	98な	
	カラマツ・ヒノキ二段林施業試験	S47年度	14.59	1061り 1065か	
	ヒノキ人工林天然更新	S54年度	34.96	1180た・つ・む・う・ お～え・さ	(奈良本山実験林)
	広葉樹間伐	S58年度	1.62	97ろ	若齡広葉樹林分の密度管理 基準調査
	展 示 林	浅間ヒノキ・カラマツ二段林	S34年度	9.41	2025と1・と2
浅間カラマツ優良人工林		S44年度	1.25	2021と	明治28年植栽
浅間山カラマツ 精英樹クローン		S59年度	37.54	2044つ・ね 2045る・た	昭和37年植栽

(注) () 書きは施業指標林設定面積で内書

(単位：ha)

種 類	名 称	設定年	面 積	位 置 (林小班)	備 考
次代検定林	次代関長 5号	S45年度	1.97	2047は	アカマツ
	関長 11号	S49年度	2.50	1109わ・よ	カラマツ
	関長 28号	S54年度	1.24	105り	カラマツ
	関長 30号	S56年度	1.50	116れ	カラマツ
	関長 39号	S63年度	0.92	1065ね	カラマツ
	関長 42号	H 2年度	1.42	96つ・ね	カラマツ
	関長 44号	H 3年度	1.37	2055い1・い2	カラマツ
	関長 45号	H 3年度	1.33	1105に	カラマツ
	試植関長 ラ号	S53年度	0.65	10う	ストローブマツ
	遺伝関長 7号	S46年度	1.96	2006は	アカマツ
	関長 23号	S52年度	2.87	2047り	カラマツ
	関長 25号	S53年度	1.77	2003ろ	カラマツ
	関長 29号	S55年度	0.79	1052ろ・は	カラマツ
	関長 31号	S56年度	1.10	116た	カラマツ
	関長 32号	S57年度	0.50	2045か	アカマツ
	関長 33号	S58年度	0.88	2045よ	カラマツ
	関長 46号	H 3年度	0.86	1147や	カラマツ
遺伝子 保存林	長遺 1号	S40年度	4.22	2036た	霧上の松 (アカマツ)
	長遺 2号	S42年度	5.60	2025る・わ	浅間山系カラマツ 金峰山系カラマツ
	長遺 3号	S43年度	3.54	2025ぬ	浅間系アカマツ
	長遺 4号	S43年度	3.28	2025よ	前掛系アカマツ
	長遺 5号	S43年度	3.60	2066へ	八ヶ岳系カラマツ
	長遺 7号	S43年度	4.56	1116る・わ	富士山系カラマツ
	長遺 15号	S46年度	2.06	1041と	久々野産カラマツ
	長遺 16号	S46年度	1.87	1041り	古川産カラマツ
	長遺 17号	S46年度	2.03	86る	木曾山系大寄合産ウラジロミ
	長遺 18号	S47年度	3.66	8ろ	開田マツ (アカマツ)
(9林育第464号)	H10年度	0.55	2027ほ	草津ほか5系統 (カラマツ)	
精 英 樹 保 護 林	カラマツ 白田 1・3号	S32年度	0.10	106に	
	カラマツ 白田 4号	S32年度	0.10	107へ	
	カラマツ 白田 5・6号	S32年度	0.25	105ほ	
	カラマツ 白田 7号	S32年度	0.10	105へ	
	カラマツ 白田 8号	S32年度	0.10	107ほ	
	カラマツ 白田 9号	S32年度	0.51	99ち	
	カラマツ 白田 11・12号	S32年度	0.83	99に	

(単位：ha)

種 類	名 称	設定年	面積	位 置 (林小班)	備 考
	カラマツ 白田 101号	S32年度	0.12	84ろ	
	カラマツ 白田 104号	S32年度	0.24	73の	
	カラマツ 白田 107号	S32年度	0.07	73そ	
	カラマツ 白田 108号	S43年度	0.23	52は	
	カラマツ 白田 109号	S43年度	0.40	53い	
	カラマツ 白田 110号	S43年度	0.56	54は	
	シラベ 白田 101~109号	S42年度	0.86	73ら	
	シラベ 白田 110・111号	S42年度	0.39	73む	
	カラマツ 上田 1号	S32年度	0.13	1026り	
	カラマツ 上田 2号	S32年度	0.98	1016ち	
	カラマツ 上田 4号	S32年度	0.54	1074に	
	カラマツ 上田 6号	S32年度	0.55	1074よ	
	カラマツ 上田 7号	S32年度	0.42	1119に	
	カラマツ 上田 8号	S35年度	0.27	1141ね	
	カラマツ 上田 9号	S35年度	0.32	1143よ	
	カラマツ 上田 101号	S36年度	0.20	1004ち	
	カラマツ 上田 102号	S36年度	0.10	1004り	
	カラマツ 岩村田 20号	S32年度	0.18	2050ち	
	カラマツ 岩村田 30号	S32年度	0.64	2050と	
	カラマツ 岩村田 37号	S32年度	0.10	2055り	
	カラマツ 岩村田 38号	S32年度	0.10	2055ぬ	
	カラマツ 岩村田 39号	S32年度	0.10	2055る	
	カラマツ 岩村田 44号	S32年度	0.10	2055わ	
カラマツ 岩村田 48号	S32年度	0.25	2019ぬ		
アカマツ 岩村田 102号	S35年度	0.08	2044よ		
育種母樹林	長野県 育28-1	H28年度	5.07	2045イ	清万採種園カラマツ
特別母樹林	特45-3	S45年度	5.32	2030は・つ	霧上マツ (天然林)
	特45-6	S45年度	5.56	83む	信州カラマツ (天然林)
	特45-7	S45年度	2.63	84ぬ・わ	信州カラマツ (天然林)
	特45-10	S45年度	10.74	1004に・ち・り	信州カラマツ (天然林)
巨樹・巨木	茂来山のこぶ太郎 (トチノキ)	H12年度	0.09	24め	「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」(平成11年12月20日付け林野業第182号林野庁長官通達)により選定された巨樹・巨木が賦存する林分である。
	弘法大師のさかさ杖 (シナノキ)	H13年度	2.40	1011へ	

(単位：m)

種 類	名 称 (設定河川等)	設定年	延長	位 置 (林小班)	備 考
溪 畔 保 全 プロジェクト林	香坂川	H25年度	3,566	2150わ・か・な・む 2152ろ・と・た・れ 2153と・ち	

(2) フィールドの提供

ア ふれあいの森

(単位：ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
軽井沢ふれあいの森 (平成13年度設定)	98.70	2101い～れ・ハ 2102い～わ	協定相手方 どんぐり運動の会 協定期間 令和10年度末まで (令和5年度末更新) 目 的 野鳥の生息に配慮しながら、多種多様な動植物が生息する森林づくりを行う。

イ 木の文化を支える森

(単位：ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
小海町御柱の森 (平成28年度設定)	10.61	79ろ	協定相手方 小海町御柱の森づくり協議会 協定期間 令和10年度末まで (令和5年度末更新) 目 的 地域の伝統行事である松原諏方神社の御柱に使われている資材の育成を図る。

ウ 遊々の森

(単位：ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
御代田町遊々の森 (平成15年度設定)	7.83	2030ち・り・ね	協定相手方 御代田町長 協定期間 令和10年度末まで (令和5年度末更新) 目 的 森林を活用した多様な体験活動を通じ、学校及び地域全体で子供たちの「生きる力」を育むとともに、郷土を知り、森林・自然に対する意識の高揚を図る。

(単位：ha)

名 称	面積	対象地 (林小班)	設定の目的等
と も り ん (平成17年度設定)	9.05	2085ろ・は・ぬ	協定相手方 中野区教育委員会 協定期間 令和10年度末まで (令和5年度末更新) 目 的 子供たちが、思いやりの心など豊かな人間関係や社会性、生きる力を育むための体験活動の一環として、豊かな森林環境教育や自然体験活動を継続的に推進することを目的にしている。
和田小学校黒耀の森 (平成20年度設定)	2.35	1133-1ほ	協定相手方 長和町立和田小学校 協定期間 令和10年度末まで (令和5年度末更新) 目 的 小学校校舎の一部に協定箇所のカラマツを使用したことから、子供たちは森林に興味を持ち、ゆかりのある場所で自然学習等を継続的にやりたいという要望から。
練馬区遊々の森 (平成24年度設定)	34.75	2071い・ち 2072り・ぬ・む	協定相手方 練馬区教育委員会 協定期間 令和10年度末まで (令和5年度末更新) 目 的 練馬区立軽井沢少年自然の家に隣接するエリアで、森林環境教育の推進を目的とした森林教室・自然観察・体験林業等の体験活動を目的とする。
ソフィアの森 (平成28年度設定)	21.59	2059た・そ〜う	協定相手方 上智大学大学院地球環境学研究科 協定期間 令和10年度末まで (令和5年度末更新) 目 的 様々な地球環境学習の重要性について理解を深めるため、総合的な環境学習・ESDのフィールドを作り、学生達が中心となり自然生態系の観察や森林体験活動を目的とする。

(単位：ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
UWC ISAK Japan 大日向遊々の森 (平成30年度設定)	30.11	2071は〜と・ね・ な	協定相手方 学校法人 ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAKジャパン 協定期間 令和10年度末まで (令和5年度末更新) 目 的 フィールドを利用して、自然の素晴らしさと林業の重要性を学ぶことにより、地域社会にも資することができる国際人を育成する。

エ 多様な活動の森

(単位：ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
多様な自然を育む 森林整備プロジェクト (平成21年度設定)	0.78	2059の・お 2072へ	協定相手方 軽井沢サクラソウ会議 協定期間 令和10年度末まで (令和5年度末更新) 目 的 下草刈りや観察会の開催等、多様な活動を行うフィールドとして設定。
菅平湿原郷土の森 (平成30年度設定)	50.25	1072い〜ろ	協定相手方 上田市長 協定期間 令和10年度末まで (令和5年度末更新) 目 的 ハンノキ・ヤチダモ・ハルニレ等の広葉樹を主とした天然林に抱かれた湿原地帯特有な植生と景観を郷土の象徴として保護する。
松ぼっくりの森 (令和元年度設定)	26.47	2072い〜は・ほ・ ち・た〜ね・ら	協定相手方 軽井沢国有林藪刈り実行委員会 協定期間 令和10年度末まで (令和5年度末更新) 目 的 修景と野生動物との緩衝帯整備を行い、野生動物の隔離により安全・安心な地域づくり、森林整備や自然と触れ合う機会を創出する。

その他附属資料

(1) 国有林野の現況

① 担当区別の区域及び面積 1

② 保安林、自然公園等の面積 2

(2) 機能類型別の国有林野の現況 3

(3) 林道等の現況 4

(4) 収穫予想表 4

(5) 地元施設等の現況 4

(1) 国有林野の現状

① 担当区別の区域及び面積

(単位:ha)

担当区	関係市町村	要存置林野		不要存置 林野面積	官行造林地 面積
		面積	関係林班		
佐久	佐久穂町	3,793.45	16~26、88~100、118		86.20
相木	南相木村	1,992.27	34~43		93.62
	北相木村	1,375.31	27~33		
	小計	3,367.58			93.62
八ヶ岳	小海町	2,027.80	79~86		
	南牧村	3,348.59	66~78		
	小計	5,376.39			
川上	川上村	4,196.27	44~56、58~65		75.18
佐久平	佐久市	5,786.16	1~15、101~118、2144~2156、 2158~2160		
軽井沢	軽井沢町	3,611.52	2083~2140		
御代田	小諸市	37.52	2026、2170		
	軽井沢町	3,196.18	2046~2082、2141、2142、 2168~2170		
	御代田町	1,996.51	2017~2030、2032、2034~2036 2038~2045、2167、2170	38.82	
	小計	5,230.21		38.82	
小諸	小諸市	1,328.89	2001~2003、2005~2016、2166、 2170		
	立科町	487.87	2164、2165		
	小計	1,816.76			
東部	東御市	3,852.00	1001~1007、1009~1026、1195		
真田	上田市	6,869.82	1027~1074、1195		
青木	上田市	5,301.21	1152~1179、1187~1189、1195		
	青木村	950.26	1180~1185、1195		13.24
	小計	6,251.47			13.24
大門	長和町	3,185.50	1101~1123、1195		
和田	長和町	5,336.21	1124~1131、1132-1、1132-2、 1133-1、1133-2、1134~1151、1195		
合計		58,673.34		38.82	268.24

② 保安林、自然公園等の面積

(単位：ha)

区分		森林管理署別			
		東信		合計	
保安林	水源かん養保安林		52,124.99		52,124.99
	土砂流出防備保安林		744.65		744.65
	土砂崩壊防備保安林		147.93		147.93
	飛砂防備保安林				
	防風保安林				
	水害防備保安林				
	潮害防備保安林				
	干害防備保安林		62.51		62.51
	防雪保安林				
	防霧保安林				
	なだれ防止保安林				
	落石防止保安林				
	防火保安林				
	魚つき保安林				
	航行目標保安林				
	保健保安林	(2,917.35)	118.77	(2,917.35)	118.77
	風致保安林				
	計	(2,917.35)	53,198.85	(2,917.35)	53,198.85
	保安施設地区				
砂防指定地		(68.24)	11.85	(68.24)	11.85
国立公園	特別保護地区	(1,598.44)	0.18	(1,598.44)	0.18
	第一種特別地域	(272.94)	0.03	(272.94)	0.03
	第二種特別地域	(1,960.60)	86.70	(1,960.60)	86.70
	第三種特別地域	(2,663.20)	15.61	(2,663.20)	15.61
	地種区分未定特別地域				
計	(6,495.18)	102.52	(6,495.18)	102.52	
国定公園	特別保護地区	(692.03)	5.07	(692.03)	5.07
	第一種特別地域	(429.63)	347.73	(429.63)	347.73
	第二種特別地域	(328.20)	70.49	(328.20)	70.49
	第三種特別地域	(10,046.69)	725.78	(10,046.69)	725.78
	地種区分未定特別地域				
計	(11,496.55)	1,149.07	(11,496.55)	1,149.07	
都道府県立自然公園	第一種特別地域				
	第二種特別地域				
	第三種特別地域				
	地種区分未定特別地域				
	計				
原生自然環境保全地域					
自然環境保全地域特別地区					
都道府県自然環境保全地域特別地区					
鳥獣保護区特別保護地区		(1,732.42)	0.60	(1,732.42)	0.60
都市緑地保全法による緑地保全地区					
都市計画法による風致地区					
林業種苗法による特別母樹林		(24.27)	0.44	(24.27)	0.44
史跡名勝天然記念物		(221.76)	0.01	(221.76)	0.01
種の保存法による管理地区					
その他の制限林		(10.00)		(10.00)	
制限林計		(22,965.77)	54,463.34	(22,965.77)	54,463.34
普通林	国立公園普通地区	(8,773.73)	363.05	(8,773.73)	363.05
	国定公園普通地区				
	都道府県立自然公園普通地区				
	自然環境保全地域普通地区				
	都道府県自然環境保全地域普通地区				
	鳥獣保護区普通地区	(19,323.95)	652.01	(19,323.95)	652.01
	種の保存法による監視地区				
	その他の法指定地域（普通林）	(6.03)		(6.03)	
普通林計	(28,103.71)	1,015.06	(28,103.71)	1,015.06	
法指定地域合計		(51,069.48)	55,478.40	(51,069.48)	55,478.40

(2) 機能類型別の国有林野の現況

(単位：面積 ha、材積 m³)

機能類型 林種	山地災害防止タイプ						快速環境形成タイプ		水源かん養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		合計	
	土砂流出崩壊防備			気象雪防備			面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
	面積	材積	材積	面積	材積	材積										
人工林	6,196.91	1,225,568					6,196.91	1,225,568	17,236.54	3,469,568	131.88	33,131	3,783.70	755,137	27,349.03	5,483,404
育成単層林																
育成複層林	35.11	7,337				35.11	7,337	199.96	42,045			23.63	5,247	258.70	54,629	
小計	6,232.02	1,232,905				6,232.02	1,232,905	17,436.50	3,511,613	131.88	33,131	3,807.33	760,384	27,607.73	5,538,033	
天然林	492.30	69,101				492.30	69,101	901.06	114,746			1.43	138	1,394.79	183,985	
育成単層林																
育成複層林	845.16	128,527				845.16	128,527	610.19	83,135			290.59	46,862	1,745.94	258,524	
天然生林	10,989.41	2,027,434				10,989.41	2,027,434	3,736.95	591,752	5,098.48	983,463	2,207.31	397,971	22,032.15	4,000,620	
小計	12,326.87	2,225,062				12,326.87	2,225,062	5,248.20	789,633	5,098.48	983,463	2,499.33	444,971	25,172.88	4,443,129	
無立木地	2.78					2.78		89.64						92.42		
竹林																
林地計	18,561.67	3,457,967				18,561.67	3,457,967	22,774.34	4,301,246	5,230.36	1,016,594	6,306.66	1,205,355	52,873.03	9,981,162	
林地以外	1,053.95					1,053.95		1,150.49	210	2,245.58	2,550	1,350.29		5,800.31	2,760	
合計	19,615.62	3,457,967				19,615.62	3,457,967	23,924.83	4,301,456	7,475.94	1,019,144	7,656.95	1,205,355	58,673.34	9,983,922	

(3) 林道等の現況

(単位: km)

区分	林道			作業道
	自動車道	軽車道	合計	
延長	536		536	

(4) 収穫予想表

別表のとおり。

(5) 地元施設等の現況

(単位: ha)

区 分	面 積	
分収造林契約に基づく分収林	2,915.80	
分収育林契約に基づく分収林	201.56	
共用林野	普通	17,144.60
	薪炭	
	放牧	289.57
	合計	17,434.17
貸地	植樹用地	1.05
	農耕用地	1.95
	鉱業用地	0.07
	道路用地	256.41
	水路用地	12.52
	電気事業用地	178.61
	温鉱泉用地	
	学校用地	
	採草放牧地	303.19
	建物用地	20.11
	その他貸地	294.65
	合計	1,068.56

別表

収穫予想表

スギ	1
ヒノキ	2
カラマツ	3
アカマツ	5
トドマツ、シラビソ	6
その他針葉樹	7
広葉樹	8

収 穫 予 想 表

適用コード： 001

樹 種：スギ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳（奈川、奈良井、贄川を除く）、千曲川上流

齡 級	林					副 林 木			主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	幹材積 m ³	幹材積 累 計 m ³	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	総収穫量 m ³	成 長 率 %
I													
II													
III	6.6	4.2	2,677	22	6.4	1.5			22	7.6	1.5	22	22.2
IV	10.3	6.2	2,050	54		6.6	2.7	6	6		60	8.6	
V	13.2	8.0	1,576	87	6.8	3.5	10	16	97	9.0	3.9	103	8.7
VI	15.7	9.7	1,282	121	7.0	4.0	11	27	132	9.2	4.4	148	6.7
VII	17.9	11.3	1,114	156	7.0	4.5	11	38	167	9.2	4.8	194	5.3
VIII	19.8	12.8	993	191	6.8	4.8	11	49	202	9.0	5.1	240	4.3
IX	21.5	14.1	900	225	6.6	5.0	11	60	236	8.6	5.2	285	3.6
X	22.9	15.4	931	258	6.2	5.2	10	70	268	8.2	5.4	328	3.0
X I	24.2	16.6	773	289	5.8	5.3	10	80	299	7.8	5.4	369	2.6
X II	25.4	17.8	725	318	5.2	5.3	10	90	328	6.8	5.5	408	2.1
X III	26.4	18.8	690	344	4.8	5.3	8	98	352	6.4	5.4	442	1.8
X IV	27.3	20.0		368	4.2	5.3	8	106	376	5.6	5.4	474	1.5
X V	28.2	21.0		389	3.8	5.2	7	113	396	5.0	5.3	502	1.3
X VI	28.9	21.8		408	3.4	5.1	6	119	414	4.4	5.2	527	1.1
X VII	29.6	22.6		425	2.8	5.0	5	124	430	3.6	5.1	549	0.8
X VIII	30.2	23.6		439	2.4	4.9	4	128	443	3.0	4.9	567	0.7
X IX	30.6	23.8		451	2.2	4.7	3	131	454	2.6	4.8	582	0.6
X X	31.0	24.3		462	1.8	4.6	2	133	464	2.0	4.6	595	0.4
X X I	31.4	24.8		471	1.4	4.5	1	134	472	1.4	4.5	605	0.3
X X II	31.6	25.3		478	1.0	4.3		134	478	1.0	4.3	612	0.2
X X III	31.8	25.8		483	1.0	4.2		134	483	1.0	4.2	617	0.2
X X IV	32.0	26.0		488	0.4	4.1		134	488	0.4	4.1	622	0.1
X X V	32.0	26.0		490	0.4	3.9		134	490	0.4	3.9	624	0.1
X X VI	32.0	26.0		492	0.4	3.8		134	492	0.4	3.8	626	0.1
X X VII													
X X VIII													
X X IX													
X X X													

(注) 二重線以降の齡級については、収穫予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 011

樹 種：ヒノキ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、千曲川上流、伊那谷

齡 級	林					副 林 木			主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	幹材積 m ³	幹材積 累 計 m ³	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	総収穫量 m ³	成 長 率 %
I													
II													
III	6.2	4.8	3,071	23	4.0	1.5	1	1	24	4.4	1.6	24	14.4
IV	8.3	6.7	2,598	43		5.0	2.2	2	3		45	5.8	2.3
V	10.3	8.3	2,200	68	5.8	2.7	4	7	72	7.2	2.9	75	8.9
VI	12.2	9.7	1,877	97	6.2	3.2	7	14	104	8.0	3.5	111	7.1
VII	14.1	11.0	1,618	128	6.4	3.7	9	23	137	8.6	3.9	151	6.0
VIII	15.9	12.1	1,411	160	6.2	4.0	11	34	171	8.8	4.3	194	5.0
IX	17.6	13.2	1,244	191	5.6	4.2	13	47	204	8.4	4.5	238	4.1
X	19.3	14.1	1,100	219	5.0	4.4	14	61	233	7.8	4.7	280	3.3
X I	20.9	14.9	1,000	244	4.4	4.4	14	75	258	7.4	4.7	319	2.9
X II	22.4	15.7	910	266	3.4	4.4	15	90	281	6.2	4.7	356	2.2
X III	23.9	16.4	835	283	3.0	4.4	14	104	297	5.8	4.6	387	2.0
X IV	25.3	17.0	772	298	2.4	4.3	14	118	312	5.0	4.5	416	1.6
X V	26.7	17.6	720	310	2.0	4.1	13	131	323	4.2	4.3	441	1.3
X VI	27.7	18.2		320	1.6	4.0	11	142	331	3.4	4.1	462	1.0
X VII	28.6	18.6		328	1.2	3.9	9	151	337	2.6	4.0	479	0.8
X VIII	29.5	19.0		334	1.0	3.7	7	158	341	2.0	3.8	492	0.6
X IX	30.1	19.3		339	0.8	3.6	5	163	344	1.2	3.6	502	0.4
X X	30.7	19.6		343	0.6	3.4	2	165	345	0.8	3.5	508	0.2
X X I	31.2	19.9		346	0.4	3.3	1	166	347	0.4	3.3	512	0.1
X X II	31.6	20.2		348	0.2	3.2		166	348	0.2	3.2	514	0.1
X X III	32.0	20.4		349	0.4	3.0		166	349	0.4	3.0	515	0.1
X X IV	32.2	20.6		351	0.4	2.9		166	351	0.4	2.9	517	0.1
X X V	32.4	20.8		353	0.4	2.8		166	353	0.4	2.8	519	0.1
X X VI													
X X VII													
X X VIII													
X X IX													
X X X													

(注) 二重線以降の齡級については、収穫予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 022

樹 種：カラマツ

施業群：（長伐期、人複）以外 適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳（奈川、奈良井、贄川を除く）、千曲川上流

齡 級	林					副 林 木			主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	幹材積 m ³	幹材積 累 計 m ³	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	総収穫量 m ³	成 長 率 %
I													
II	5.6	5.2	1,800	13		1.3							
III	8.9	7.9	1,471	38		2.5	4	4	42		2.8	42	16.3
IV	12.4	10.2	1,161	72	6.8	3.6	9	13	81	8.6	4.1	85	8.0
V	14.7	12.0	936	96	4.8	3.8	10	23	106	6.8	4.2	119	8.0
VI	17.0	13.6	762	117	4.2	3.9	12	35	129	6.6	4.3	152	6.1
VII	19.1	14.9	646	138	4.2	3.9	12	47	150	6.6	4.3	185	5.1
VIII	20.9	16.0	561	158	4.0	4.0	12	59	170	6.4	4.3	217	4.3
IX	22.7	17.1	501	174	3.2	3.9	11	70	185	5.4	4.1	244	3.2
X	24.1	17.9	462	190	3.2	3.8	9	79	199	5.0	4.0	269	2.7
X I	25.4	18.8	434	205	3.0	3.7	8	87	213	4.6	3.9	292	2.3
X II	26.6	19.4	415	221	3.2	3.7	6	93	227	4.4	3.8	314	2.1
X III	28.0	20.0		233	2.4	3.6	5	98	238	3.4	3.7	331	1.5
X IV	29.0	20.0		243	2.0	3.5	4	102	247	2.8	3.5	345	1.2
X V	30.0	21.0		253	2.0	3.4	3	105	256	2.6	3.4	358	1.0
X VI	31.0	21.0		261	1.6	3.3	2	107	263	2.0	3.3	368	0.8
X VII	31.0	22.0		266	1.0	3.1	2	109	268	2.0	3.2	375	0.8
X VIII	32.0	22.0		271	1.0	3.0	2	111	273	1.4	3.0	382	0.5
X IX	33.0	22.0		275	0.8	2.9	1	112	276	1.4	2.9	387	0.4
X X	33.0	22.0		280	1.0	2.8	1	113	281	1.0	2.9	387	0.4
X X I	34.0	23.0		283	0.6	2.7		113	283	1.2	2.8	393	0.4
X X II										0.6	2.7	396	0.2
X X III													
X X IV													
X X V													
X X VI													
X X VII													
X X VIII													
X X IX													
X X X													

(注) 二重線以降の齡級については、収獲予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 024

樹 種：カラマツ

施業群：長伐期、人複

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曾谷

齡 級	林				副 林 木				主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	幹材積 m ³	幹材積 累 計 m ³	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	総収穫量 m ³	成 長 率 %
I													
II	7.0	5.5	1,750	23			3	3					
III	11.4	8.7	1,375	69		4.6	9	12	78		5.2	81	12.6
IV	14.3	11.5	1,110	111	8.4	5.6	14	26	125	11.2	6.3	137	8.6
V	16.9	13.9	920	151	8.0	6.0	17	43	168	11.4	6.7	194	6.2
VI	19.2	16.0	770	184	6.6	6.1	20	63	204	10.6	6.8	247	5.0
VII	21.4	17.8	645	211	5.4	6.0	24	87	235	10.2	6.7	298	4.1
VIII	23.4	19.3	550	235	4.8	5.9	23	110	258	9.4	6.5	345	3.2
IX	25.4	20.5	485	253	3.6	5.6	22	132	275	8.0	6.1	385	2.8
X	27.1	21.7	434	271	3.6	5.4	20	152	291	7.6	5.8	423	2.5
X I	28.8	22.6	397	290	3.8	5.3	17	169	307	7.2	5.6	459	2.2
X II	30.4	23.4	365	306	3.2	5.1	17	186	323	6.6	5.4	492	1.9
X III	31.9	24.1	339	321	3.0	4.9	16	202	337	6.2	5.2	523	1.8
X IV	33.4	24.7	317	336	2.4	4.8	15	217	351	6.0	5.0	553	1.6
X V	34.8	25.2	297	348	2.2	4.6	15	232	363	5.4	4.8	580	1.4
X VI	36.1	25.7	280	359	2.0	4.5	14	246	373	5.0	4.7	605	1.2
X VII	37.4	26.0	266	370	2.0	4.4	12	258	382	4.6	4.5	628	1.1
X VIII	38.6	26.3	258	380	1.8	4.2	10	268	390	4.0	4.3	648	0.8
X IX	39.8	26.6	254	390	1.6	4.1	5	273	395	3.0	4.2	663	0.7
X X	40.9	26.8	254	399	1.4	4.0	4	277	403	2.6	4.0	676	0.5
X X I	41.6	27.0		407	1.2	3.9	3	280	410	2.2	3.9	687	0.4
X X II	42.4	27.1		414	1.2	3.8	2	282	416	1.8	3.8	696	0.3
X X III	43.3	27.2		420	1.2	3.7	1	283	421	1.4	3.7	703	0.3
X X IV	43.7	27.2		426	1.2	3.6		283	426	1.2	3.6	709	0.3
X X V	44.2	27.2		432	0.8	3.5		283	432	1.2	3.5	715	0.3
X X VI	44.6	27.2		438	0.8	3.4		283	438	1.2	3.4	721	0.2
X X VII	44.9	27.2		442	0.8	3.3		283	442	0.8	3.3	725	0.2
X X VIII	45.1	27.2		446	1.0	3.2		283	446	0.8	3.2	729	0.2
X X IX	45.2	27.2		450		3.1		283	450	0.8	3.1	733	0.2
X X X	45.2	27.2		455		3.0		283	455	1.0	3.0	738	0.2

(注) 二重線以降の齡級については、収獲予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 021

樹 種：アカマツ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曾谷

齡 級	林				副 林 木				主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	幹材積 m ³	幹材積 累 計 m ³	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	総収穫量 m ³	成 長 率 %
I													
II	2.4	2.8	3,170	14		1.9							
III	5.0	4.8	2,680	28		2.2			28		1.9	28	10.4
IV	7.9	6.7	2,130	44	3.2	2.4	2	2	46	3.6	2.3	46	9.4
V	10.9	8.5	1,565	60	3.2	2.5	9	11	69	5.0	2.8	71	8.7
VI	13.6	10.0	1,100	76	3.2	2.6	15	26	91	6.2	3.0	102	6.9
VII	16.2	11.4	815	91	3.0	2.7	15	41	106	6.0	3.0	132	5.7
VIII	18.8	12.7	640	106	3.0	2.7	14	55	120	5.8	3.0	161	4.5
IX	21.0	13.8	545	121	3.0	2.7	11	66	132	5.2	2.9	187	3.7
X	22.9	14.7	478	134	2.6	2.7	11	77	145	4.8	2.9	211	3.2
X I	24.8	15.6	421	147	2.6	2.7	10	87	157	4.6	2.9	234	2.8
X II	26.6	16.4	374	159	2.4	2.7	10	97	169	4.4	2.8	256	2.2
X III	27.9	17.0	350	170	2.2	2.6	7	104	177	3.6	2.7	274	1.9
X IV	29.2	17.6	330	181	2.2	2.6	6	110	187	3.4	2.7	291	1.6
X V	30.0	18.0		191	2.0	2.5	5	115	196	3.0	2.6	306	1.4
X VI	31.0	19.0		201	2.0	2.5	4	119	205	2.8	2.6	320	1.2
X VII	32.0	19.0		210	1.8	2.5	3	122	213	2.4	2.5	332	0.8
X VIII	33.0	20.0		217	1.4	2.4	2	124	219	1.8	2.4	341	0.5
X IX	34.0	20.0		222	1.0	2.3	1	125	223	1.2	2.3	347	0.4
X X	34.0	20.0		226	0.8	2.3		125	226	0.8	2.3	351	0.2
X X I	35.0	21.0		228	0.4	2.2		125	228	0.4	2.2	353	
X X II													
X X III													
X X IV													
X X V													
X X VI													
X X VII													
X X VIII													
X X IX													
X X X													

(注) 二重線以降の齡級については、収穫予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 031

樹 種：トドマツ、オオシラビソ、シラベ
 施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川上流、伊那谷

齡 級	林					副 林 木			主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	幹材積 m ³	幹材積 累 計 m ³	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	総収獲量 m ³	成 長 率 %
I													
II													
III	3.4	3.2		27		1.8		27		1.8	27		7.1
IV	4.2	3.8	17,845	38	2.2	1.9		38	2.2	1.9	38		6.5
V	5.1	4.8	12,812	52	2.8	2.1		52	2.8	2.1	52		5.2
VI	6.0	5.7	9,408	67	3.0	2.2		67	3.0	2.2	67		4.4
VII	6.8	6.6	7,193	83	3.2	2.4		83	3.2	2.4	83		4.0
VIII	8.1	7.4	5,576	101	3.6	2.5		101	3.6	2.5	101		3.3
IX	9.3	8.2	4,428	119	3.6	2.6		119	3.6	2.6	119		3.0
X	10.6	9.0	3,579	138	3.8	2.8		138	3.8	2.8	138		2.5
X I	11.9	9.6	2,935	156	3.6	2.8		156	3.6	2.8	156		2.3
X II	13.2	10.2	2,535	175	3.8	2.9		175	3.8	2.9	175		1.9
X III	14.4	10.8	2,200	192	3.4	3.0		192	3.4	3.0	192		1.7
X IV	15.6	11.3	1,942	209	3.4	3.0		209	3.4	3.0	209		1.6
X V	16.8	11.8	1,731	226	3.4	3.0		226	3.4	3.0	226		1.3
X VI	17.8	12.2	1,563	241	3.0	3.0		241	3.0	3.0	241		1.2
X VII	18.8	12.6	1,430	256	3.0	3.0		256	3.0	3.0	256		1.0
X VIII	19.7	13.0	1,330	269	2.6	3.0		269	2.6	3.0	269		0.9
X IX	20.5	13.4	1,250	281	2.4	3.0		281	2.4	3.0	281		0.8
X X	21.2	13.7	1,195	293	2.4	2.9		293	2.4	2.9	293		0.7
X X I	21.9	14.1		303	2.0	2.9		303	2.0	2.9	303		0.6
X X II	22.4	14.4		312	1.8	2.8		312	1.8	2.8	312		0.5
X X III	23.1	14.7		320	1.6	2.8		320	1.6	2.8	320		0.4
X X IV	23.7	14.9		327	1.4	2.8		327	1.4	2.7	327		0.4
X X V	24.2	15.2		334	1.4	2.7		334	1.4	2.7	334		0.4
X X VI	24.7	15.4		340	1.2	2.7		340	1.2	2.6	340		0.3
X X VII	24.7	15.4		340	1.0	2.6		340	1.0	2.6	340		0.3
X X VIII	25.0	15.5		345	1.0	2.6		345	1.0	2.5	345		0.2
X X IX	25.4	15.7		350	0.8	2.5		350	0.8	2.4	350		0.2
X X X	25.6	15.8		354	0.8	2.4		354	0.8	2.4	354		0.2
X X X	25.8	15.8		358	0.8	2.4		358	0.8	2.4	358		0.2

(注) 二重線以降の齡級については、収獲予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 032

樹 種：その他針葉樹

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曾谷

齡 級	林				副 林 木				主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	幹材積 m ³	幹材積 累 計 m ³	幹材積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	総収穫量 m ³	成 長 率 %
I													
II													
III													
IV	5.3	3.6	2,760	27	3.0	1.4			27	3.4	1.4	27	10.3
V	7.8	4.4	2,400	42		1.7	2	2	44		1.8	44	
VI	9.4	5.5	2,100	59	3.4	2.0	4	6	63	4.2	2.1	65	8.4
VII	11.0	6.7	1,840	79	4.0	2.3	6	12	85	5.2	2.4	91	7.6
VIII	12.5	8.0	1,630	101	4.4	2.5	7	19	108	5.8	2.7	120	6.5
IX	14.3	9.1	1,430	125	4.8	2.8	7	26	132	6.2	2.9	151	5.5
X	16.1	10.2	1,270	148	4.6	3.0	9	35	157	6.4	3.1	183	4.7
X I	17.7	11.1	1,130	170	4.4	3.1	10	45	180	6.4	3.3	215	4.0
X II	19.2	12.0	1,020	191	4.2	3.2	11	56	202	6.4	3.4	247	3.5
X III	20.7	12.7	910	212	4.2	3.3	11	67	223	6.4	3.4	279	3.1
X IV	22.3	13.3	820	232	4.0	3.3	12	79	244	6.4	3.5	311	2.9
X V	23.7	13.9	740	250	3.6	3.3	13	92	263	6.2	3.5	342	2.5
X VI	25.0	14.5	660	266	3.2	3.3	13	105	279	5.8	3.5	371	2.2
X VII	26.0	15.0		280	2.8	3.3	12	117	292	5.2	3.4	397	1.9
X VIII	27.0	16.0		292	2.4	3.2	11	128	303	4.6	3.4	420	1.6
X IX	28.0	16.0		303	2.2	3.2	10	138	313	4.2	3.3	441	1.4
X X	29.0	16.0		312	1.8	3.1	9	147	321	3.6	3.2	459	1.2
X X I	30.0	17.0		320	1.6	3.0	8	155	328	3.2	3.1	475	1.0
X X II	31.0	17.0		327	1.4	3.0	7	162	334	2.8	3.0	489	0.9
X X III	31.0	17.0		332	1.0	2.9	6	168	338	2.2	2.9	500	0.7
X X IV	32.0	18.0		337	1.0	2.8	5	173	342	2.0	2.9	510	0.6
X X V	32.0	18.0		341	0.8	2.7	4	177	345	1.6	2.8	518	0.5
X X VI	33.0	18.0		344	0.6	2.6	3	180	347	1.2	2.7	524	0.3
X X VII	34.0	18.0		347	0.4	2.6	3	183	350	1.2	2.6	530	0.3
X X VIII	34.0	18.0		349	0.6	2.5	2	185	351	0.8	2.5	534	0.2
X X IX	34.0	18.0		352	0.6	2.4	1	186	353	0.8	2.4	538	0.2
X X X	34.0	18.0		354	0.4	2.4	1	187	355	0.6	2.4	541	0.2

(注) 二重線以降の齡級については、収穫予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 042

樹 種：広葉樹

施業群：指定なし

適用森林計画区：中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曾谷

齡 級	林				副 林 木				主 副 林 木 合 計				成 長 率 %
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m³	連 年 成 長 量 m³	平 均 成 長 量 m³	幹材積 m³	幹材積 累 計 m³	幹材積 m³	連 年 成 長 量 m³	平 均 成 長 量 m³	総収獲量 m³	
I													
II													
III													
IV	7.0	6.4	2,150	25	2.0	1.3	5	5	30	3.2	1.5	30	10.4
V	8.3	7.7	1,600	35		1.4	6	11	41		1.6	46	
VI	9.8	9.7	1,215	47	2.4	1.6	9	20	56	4.2	1.9	67	9.9
VII	11.6	11.1	970	59	2.4	1.7	9	29	68	4.2	1.9	88	7.7
VIII	13.4	12.4	810	71	2.4	1.8	10	39	81	9.0	2.0	110	6.5
IX	15.2	13.2	700	84	2.6	1.9	10	49	94	4.6	2.1	133	5.8
X	17.0	14.8	615	100	3.2	2.0	10	59	110	5.2	2.2	159	5.5
X I	18.7	15.9	540	115	3.0	2.1	10	69	125	5.0	2.3	184	4.6
X II	20.4	17.0	480	127	2.4	2.1	11	80	138	4.6	2.3	207	3.7
X III	21.9	17.8	430	138	2.2	2.1	11	91	149	4.4	2.3	229	3.2
X IV	23.6	18.6	390	149	2.2	2.1	11	102	160	4.4	2.3	251	3.0
X V	25.2	19.3	350	158	1.8	2.1	12	114	170	4.2	2.3	272	2.7
X VI	26.8	20.0	320	168	2.0	2.1	11	125	179	4.2	2.3	272	2.5
X VII	28.0	21.0		176	1.6	2.1	10	135	186	3.6	2.2	293	2.1
X VIII	29.0	21.0		184	1.6	2.1	10	145	194	3.6	2.2	311	2.0
X IX	30.0	22.0		190	1.2	2.0	10	155	200	3.2	2.2	329	1.7
X X	31.0	22.0		195	1.0	2.0	10	165	205	3.0	2.1	345	1.5
X X I	32.0	23.0		200	1.0	2.0	10	165	205	3.0	2.1	360	1.5
X X II	32.0	23.0		206	1.0	1.9	9	174	209	2.8	2.0	374	1.4
X X III	32.0	23.0		206	1.2	1.9	7	181	213	2.6	2.0	387	1.3
X X IV	33.0	23.0		210	0.8	1.9	7	181	213	2.0	1.9	387	1.0
X X V	33.0	23.0		210	0.6	1.8	6	187	216	1.4	1.9	397	1.0
X X VI	34.0	24.0		213	0.6	1.8	4	191	217	1.4	1.8	404	0.7
X X VII	34.0	24.0		216	0.6	1.8	4	191	217	1.2	1.8	404	0.6
X X VIII	34.0	24.0		216	0.4	1.7	3	194	219	0.8	1.8	410	0.4
X X IX	34.0	24.0		218	0.4	1.7	2	196	220	0.8	1.7	414	0.4
X X X	34.0	24.0		218	0.4	1.7	2	196	220	0.6	1.7	414	0.3
X X I	35.0	24.0		220	0.4	1.6	1	197	221	0.4	1.6	417	0.2
X X II	35.0	24.0		222	0.4	1.6		197	222	0.4	1.6	419	0.2
X X III	35.0	24.0		222	0.2	1.6		197	222	0.2	1.6	419	0.1
X X IV	35.0	25.0		223	0.2	1.5		197	223	0.2	1.5	420	0.1
X X V	35.0	25.0		223	0.2	1.5		197	223	0.2	1.5	420	0.1
X X VI	35.0	25.0		224	0.2	1.5		197	224	0.2	1.5	421	0.1
X X VII	35.0	25.0		224	0.2	1.5		197	224	0.2	1.5	421	0.1

(注) 二重線以降の齡級については、収穫予想表から推定した数値である。